
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2009年第12週
(3月16日～3月22日)

- * 2009年3月25日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況を
16頁に掲載しています。

平成21(2009)年3月26日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2009年12週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		9週	10週	11週	12週	年累計	12週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	69	80	62	40	768	266	5107
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 * 鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三類	コレラ							2
	細菌性赤痢	4	2			10		42
	腸管出血性大腸菌感染症	2		1	3	11	12	174
	腸チフス		1	2		4	1	6
	パラチフス		1		1	2	1	3
四類	E型肝炎					3		9
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	2	1			3	1	22
	エキノкокクス症					1		6
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					2		34
	デング熱	1	1			5		18
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							4
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア	1		1		8		15
野兔病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	1	1		15	6	134	
レプトスピラ症							1	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		9週	10週	11週	12週	年累計	12週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢		3	2	2	32	9	198
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1	1	1		11	1	43
	急性脳炎***		1		1	8	2	62
	クリプトスポリジウム症							1
	クロイツフェルト・ヤコブ病					3	1	23
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				3	1	25
	後天性免疫不全症候群	12	16	6	10	119	14	320
	ジアルジア症	2	2	1		10	1	15
	髄膜炎菌性髄膜炎				1	1	1	5
	先天性風しん症候群							
	梅毒	2	6	6	6	50	8	160
	破傷風					1		12
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1	1	20
	風しん			1		2	1	44
	麻しん	2	1	2	2	24	13	182
2009/3/25集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** 2008年5月12日から指定された。

*** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 40件 肺結核25件、その他の結核5件、肺結核及びその他の結核1件、無症状病原体保有者9件で、推定感染地はすべて国内。年齢は、5歳未満1件、10歳代1件、20歳代8件、30歳代6件、40歳代4件、50歳代6件、60歳代4件、70歳代5件、80歳代4件、不明1件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 3件 有症状者1件、無症状病原体保有者2件で、血清型・毒素型はO157(VT2) 2件、O157(VT1VT2) 1件であった。年齢は20歳代2件、30歳代1件であった。

パラチフス 1件 推定感染地はインドネシア、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

〈四類感染症〉

四類感染症の届出はなかった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 ともに腸管アメーバ症で、推定感染地はともに国内、感染経路はともに不明であった。

急性脳炎 1件 病原体はインフルエンザウイルスA型で、年齢は5歳未満であった。

後天性免疫不全症候群 10件 無症候キャリア6件、AIDS 3件、その他1件であった。無症候キャリアおよびその他の年齢は、20歳代1件、30歳代1件、40歳代2件、50歳代2件、70歳代1件で、AIDS患者の年齢は、40歳代2件、50歳代1件であった。推定感染地は国内7件、中国1件、インドネシア1件、不明1件、推定感染経路は性的接触7件(同性間性的接触3件、異性間性的接触4件)、不明3件であった。

髄膜炎菌性髄膜炎 1件 年齢は5歳未満で、推定感染地は国内、感染経路は不明であった。血清群は不明。

梅毒 6件 早期顕症梅毒Ⅱ期1件、無症候5件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触5件(同性間4件、異性間1件)、不明1件であった。

麻しん 2件 麻しん(検査診断例)1件、修飾麻しん(検査診断例)1件で、年齢は5歳未満1件、30歳代1件、麻しん含有ワクチン接種歴はともに1回であった。

※第11週該当分として、五類 ウイルス性肝炎1件(C型、国内感染、感染経路不明)の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2009年12週

定点種別	対象疾患	2009年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		9週	10週	11週	12週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	13	8	5	7	0.05	148	150
	咽頭結膜熱	30	27	32	24	0.16		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	317	372	348	317	2.14		
	感染性胃腸炎	1,064	1,102	1,083	967	6.53		
	水痘	185	181	208	176	1.19		
	手足口病	6	8	11	18	0.12		
	伝染性紅斑	16	20	26	39	0.26		
	突発性発しん	82	64	71	92	0.62		
	百日咳	4	2	5	2	0.01		
	ヘルパンギーナ	3	1	6	11	0.07		
	流行性耳下腺炎	79	73	89	77	0.52		
	不明発しん症(注1)	7	10	6	6	0.04		
	MCLS(川崎病)(注1)	1	1	0	1	0.01		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	2,585	3,328	4,119	3,943	13.79	286	290
眼科	急性出血性結膜炎	2	0	0	0	0.00	37	39
	流行性角結膜炎	11	10	10	11	0.30		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	0	1	0	0	0.00	23	24
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	4	2	11	4	0.17		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	3	3	0	1	0.04		
2009/3/25集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻疹、成人麻疹は2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。今年に入ってから過去5年平均と比較して低いレベルで推移していたが、徐々に5年平均に近づいている。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、微減した。都全体では引き続き注意報レベルにあり、まだ注意が必要と思われる。保健所管轄地域31か所中、警報レベルにある地域は4か所、注意報レベルにある地域は14か所であった。

(定点医療機関からのコメント)

大田区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:9歳児、カンピロバクター食中毒・腸炎(馬刺による)。

みなと保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:50名中、ロタウイルス8名。

*インフルエンザに関するコメントは13-14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年12週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	2			5	5			1		
～11か月	1	2		45	11	3	1	41		2
1歳	3	3	7	127	27	3	3	43		1
2歳		3	13	101	32	3	2	7		1
3歳		3	18	86	22	3	3			
4歳		2	46	95	23	2	7			
5歳		7	59	76	21	2	6			1
6歳		1	45	61	16	1	3			
7歳		1	40	64	4		3			
8歳			32	65	5		4			
9歳		1	17	44	3		2		1	1
10～14歳			31	74	7		4			2
15～19歳			2	10						
20～29歳	1	1	7	114		1	1		1	3
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	7	24	317	967	176	18	39	92	2	11
先週比	2	-8	-31	-116	-32	7	13	21	-3	5

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月				5		
～11か月				18		
1歳	2			67		
2歳	12	1		69		
3歳	11	1		116		
4歳	9	1		244		
5歳	5	1	1	284		1
6歳	11			390		
7歳	9			560		
8歳	5			405		
9歳	5			341		
10～14歳	7	1		996		1
15～19歳				124		
20～29歳	1	1		81		2
30～39歳				134		2
40～49歳				83		2
50～59歳				15		1
60～69歳				9		1
70～79歳				1		1
80歳以上				1		
合計	77	6	1	3943		11
先週比	-12		1	-176		1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2009年12週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		1
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		1
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		2

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年12週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	1	1		9						1
中央区			5	5	10			1		
みなと	2		3	62	1	1	1	3		
新宿区			14	26	2	2	1	6		
文京			2	7	3			2		
台東			10	24	10			4		
墨田区			10	23	5			1		
江東区			10	55	5		1	4		
品川区		2	8	43	6	2	1	2		
目黒区			1	12	3		3	1		
大田区		3	11	62	8	4	8	7	1	
世田谷			14	43	7	2	5	4		2
渋谷区			2	23	3	1	3	1		
中野区			5	74	6		1	4		
杉並			8	47	12			2		
池袋			2	16	2		1			
北区				30	3		2	6		
荒川区		1	4	22	10			3		
板橋区		1	5	10						
練馬区			2	19	4		1	2		
足立			7	19		3	2	2		
葛飾区			6	20	13			1		
江戸川	1	8	54	26	3			5		1
八王子市		3	39	52	12	1	1	6	1	
西多摩			3	25	4	1	1	3		
南多摩	2	2	7	30	6			4		3
町田	1		43	48	9	1	5	6		4
多摩立川			9	22	3		1	1		
多摩府中			7	37	12		1	6		
多摩小平		3	26	76	10			4		
島しょ					4			1		
東京都合計	7	24	317	967	176	18	39	92	2	11

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2009年12週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	2			26		
中央区				19		
みなと	5			48		
新宿区	1			118		3
文京	2			44		
台東	3			23		
墨田区	2			24		
江東区	2			159		
品川区	1			157		
目黒区				27		
大田区	1			142		2
世田谷	1			248		
渋谷区	3			47		
中野区	2			146		1
杉並				178		1
池袋	1			61		
北区				94		
荒川区		1		64		
板橋区				91		
練馬区	5			229		
足立				178		1
葛飾区	1			92		2
江戸川	2			104		1
八王子市	22	1		316		
西多摩	5			184		
南多摩	2		1	231		
町田	8	2		183		
多摩立川				161		
多摩府中	1	2		292		
多摩小平	5			249		
島しょ				8		

東京都合計	77	6	1	3,943	-	11
-------	----	---	---	-------	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		1
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		1
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計		2
-------	--	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年12週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	0.25	0.25		2.25						0.25
中央区			1.67	1.67	3.33			0.33		
みなと	0.33		0.50	10.33	0.17	0.17	0.17	0.50		
新宿区			2.33	4.33	0.33	0.33	0.17	1.00		
文京			0.67	2.33	1.00			0.67		
台東			3.33	8.00	3.33			1.33		
墨田区			3.33	7.67	1.67			0.33		
江東区			2.50	13.75	1.25		0.25	1.00		
品川区		0.33	1.33	7.17	1.00	0.33	0.17	0.33		
目黒区			0.33	4.00	1.00		1.00	0.33		
大田区		0.33	1.22	6.89	0.89	0.44	0.89	0.78	0.11	
世田谷			1.75	5.38	0.88	0.25	0.63	0.50		0.25
渋谷区			0.50	5.75	0.75	0.25	0.75	0.25		
中野区			0.83	12.33	1.00		0.17	0.67		
杉並			1.33	7.83	2.00			0.33		
池袋			0.40	3.20	0.40		0.20			
北区				7.50	0.75		0.50	1.50		
荒川区		0.50	2.00	11.00	5.00			1.50		
板橋区		0.20	1.00	2.00						
練馬区			0.40	3.80	0.80		0.20	0.40		
足立			1.40	3.80		0.60	0.40	0.40		
葛飾区			2.00	6.67	4.33			0.33		
江戸川	0.20	1.60	10.80	5.20	0.60			1.00		0.20
八王子市		0.75	9.75	13.00	3.00	0.25	0.25	1.50	0.25	
西多摩										
南多摩	0.50	0.50	1.75	7.50	1.50			1.00		0.75
町田	0.25		10.75	12.00	2.25	0.25	1.25	1.50		1.00
多摩立川			1.50	3.67	0.50		0.17	0.17		
多摩府中			0.70	3.70	1.20		0.10	0.60		
多摩小平		0.50	4.33	12.67	1.67			0.67		
島しょ					4.00			1.00		

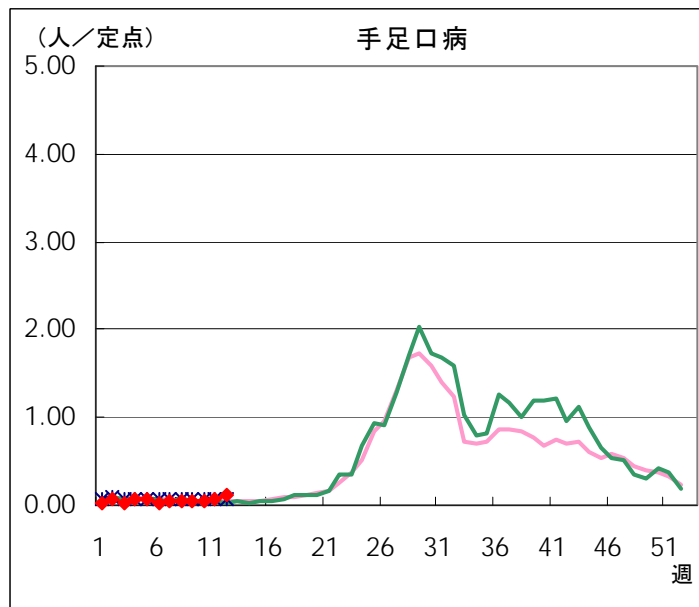
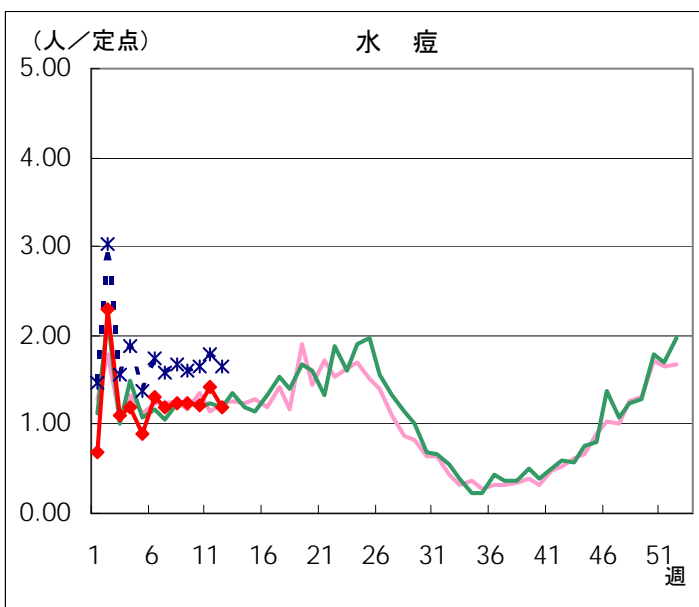
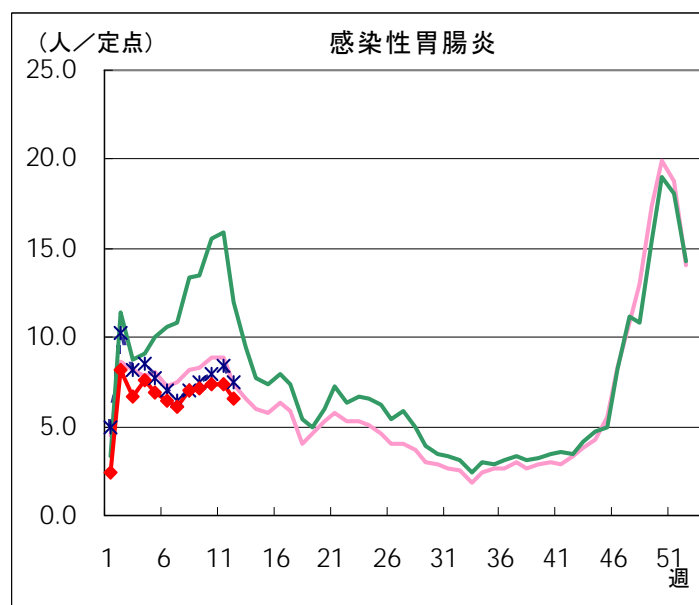
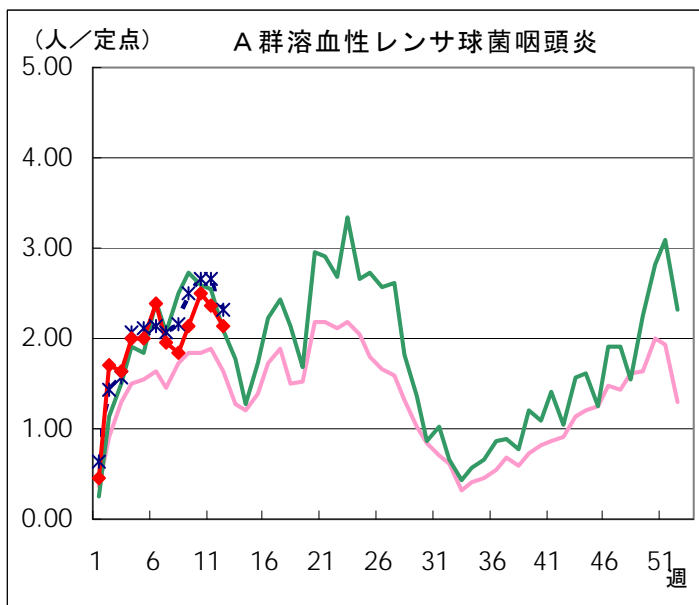
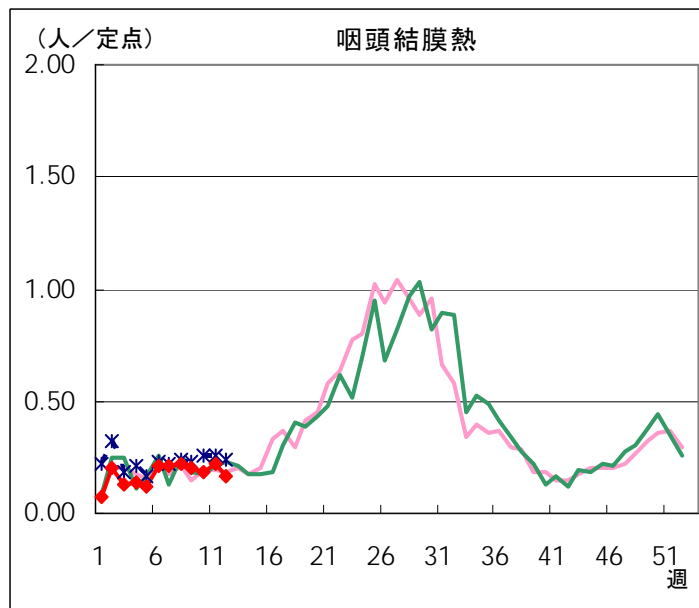
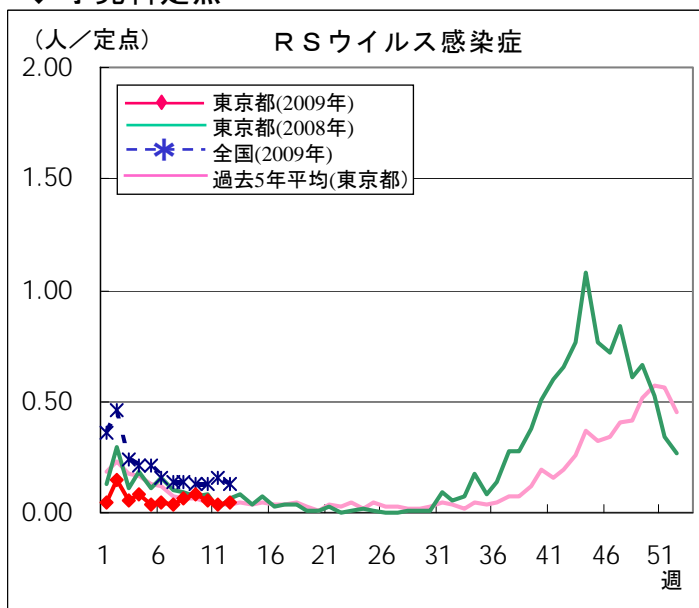
東京都	0.05	0.16	2.14	6.53	1.19	0.12	0.26	0.62	0.01	0.07
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

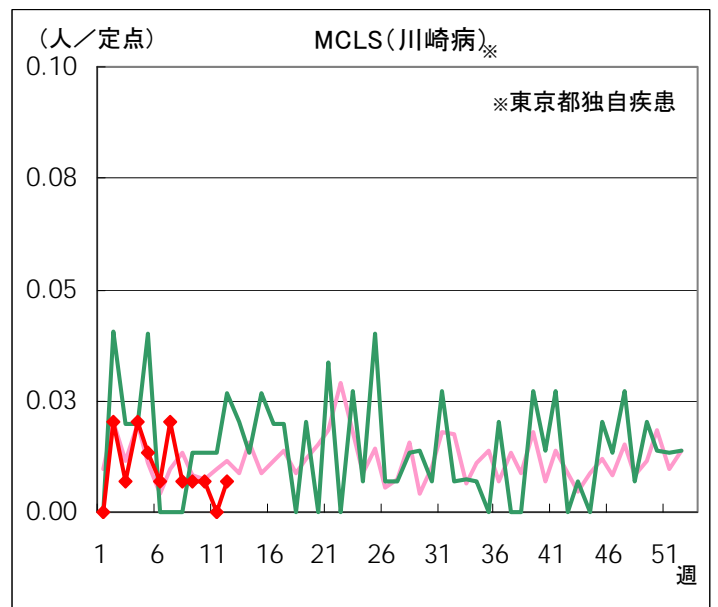
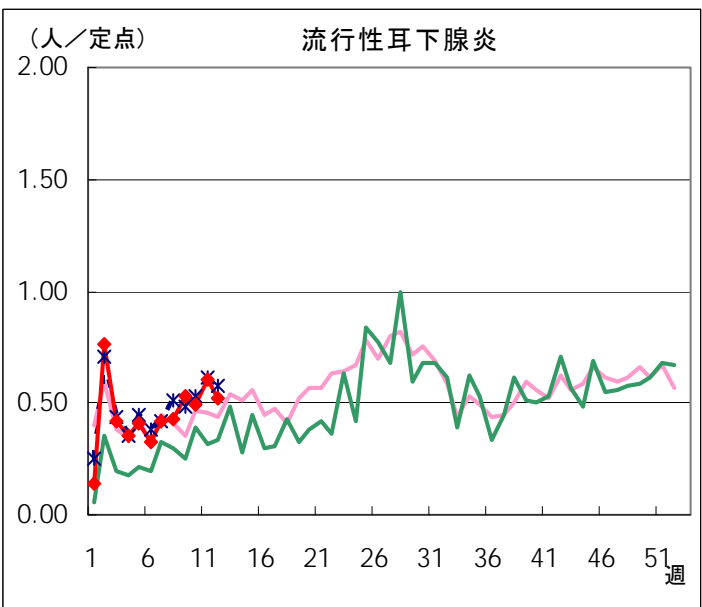
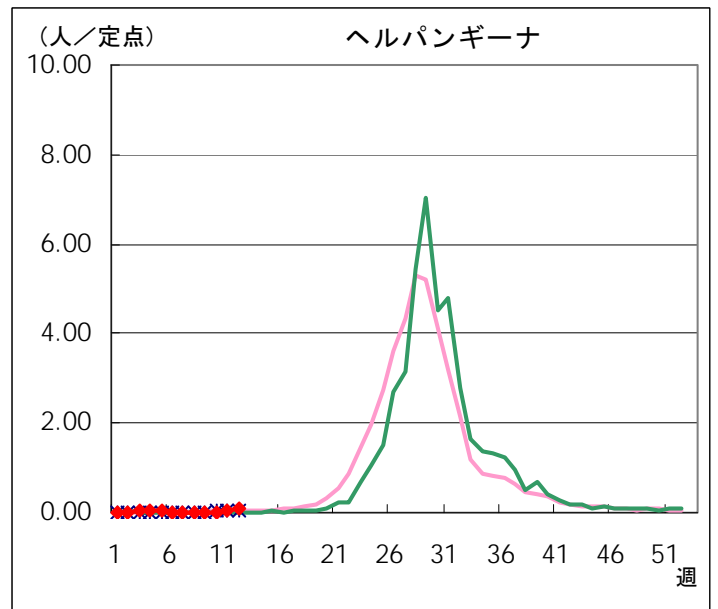
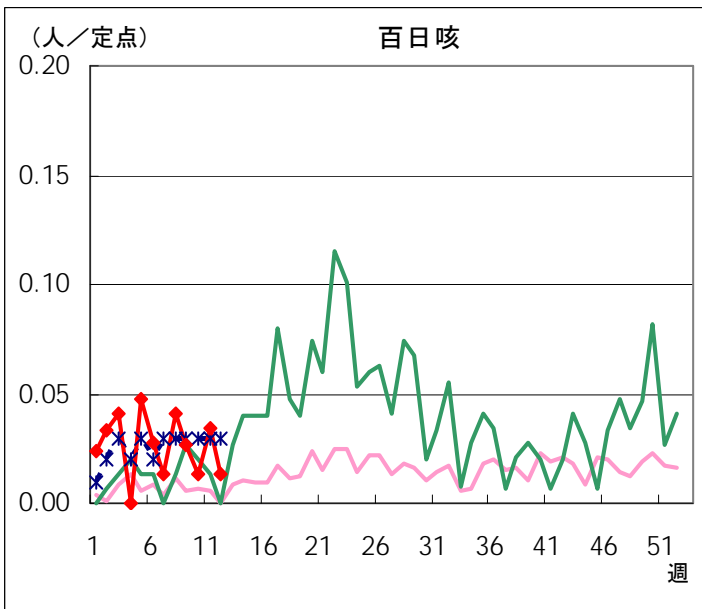
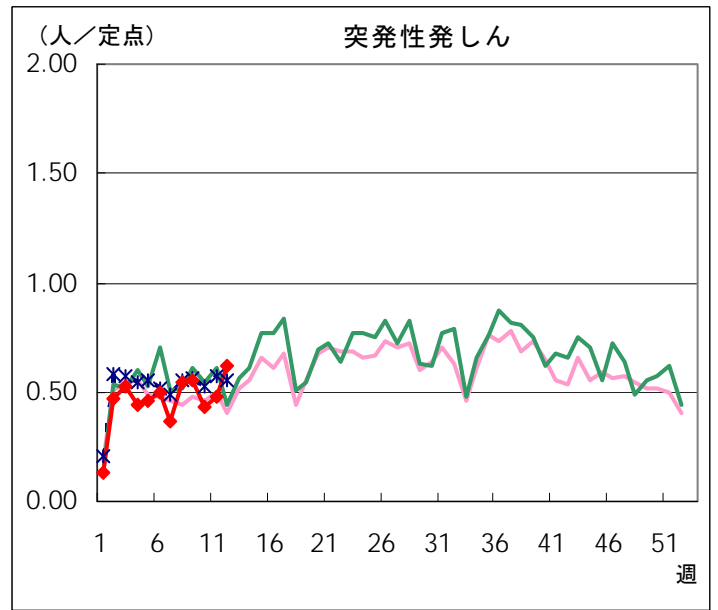
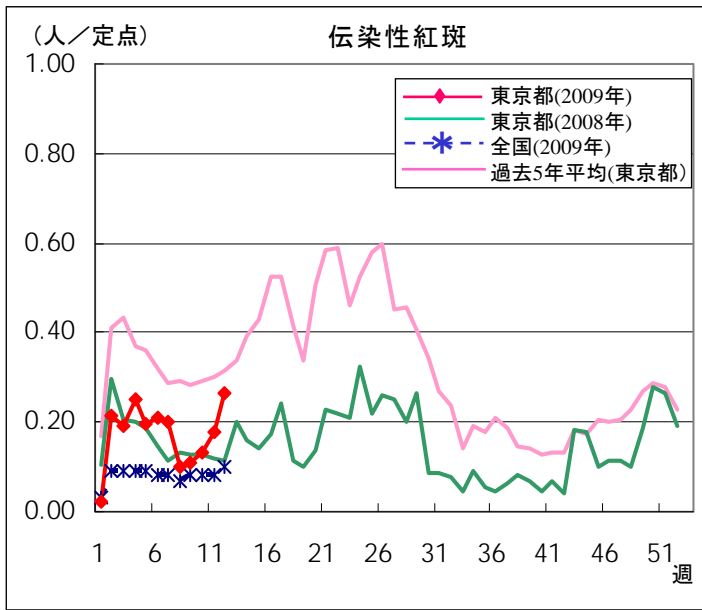
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	0.50			5.20		
中央区				4.75		
みなと	0.83			6.00		
新宿区	0.17			13.11		1.50
文京	0.67			8.80		
台東	1.00			4.60		
墨田区	0.67			4.00		
江東区	0.50			17.67		
品川区	0.17			15.70		
目黒区				4.50		
大田区	0.11			8.88		1.00
世田谷	0.13			16.53		
渋谷区	0.75			7.83		
中野区	0.33			16.22		1.00
杉並				14.83		1.00
池袋	0.20			7.63		
北区				11.75		
荒川区		0.50		16.00		
板橋区				8.27		
練馬区	1.00			19.08		
足立				14.83		0.50
葛飾区	0.33			11.50		2.00
江戸川	0.40			8.67		1.00
八王子市	5.50	0.25		31.60		
西多摩				20.44		
南多摩	0.50		0.25	28.88		
町田	2.00	0.50		20.33		
多摩立川				12.38		
多摩府中	0.10	0.20		13.90		
多摩小平	0.83			17.79		
島しょ				4.00		

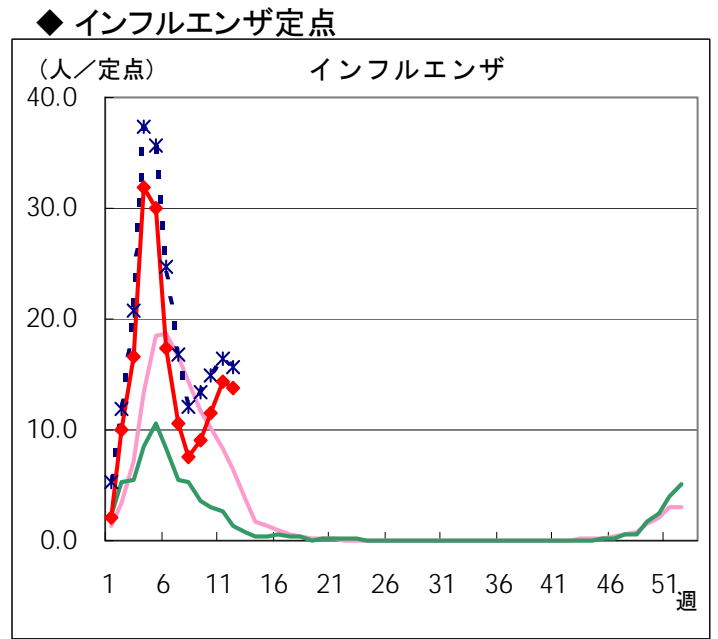
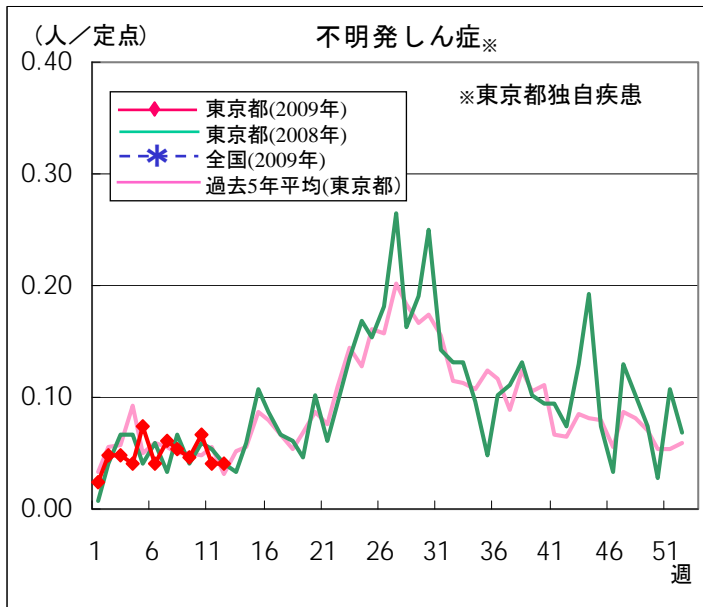
東京都	0.52	0.04	0.01	13.79	-	0.30
-----	------	------	------	-------	---	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年12週現在

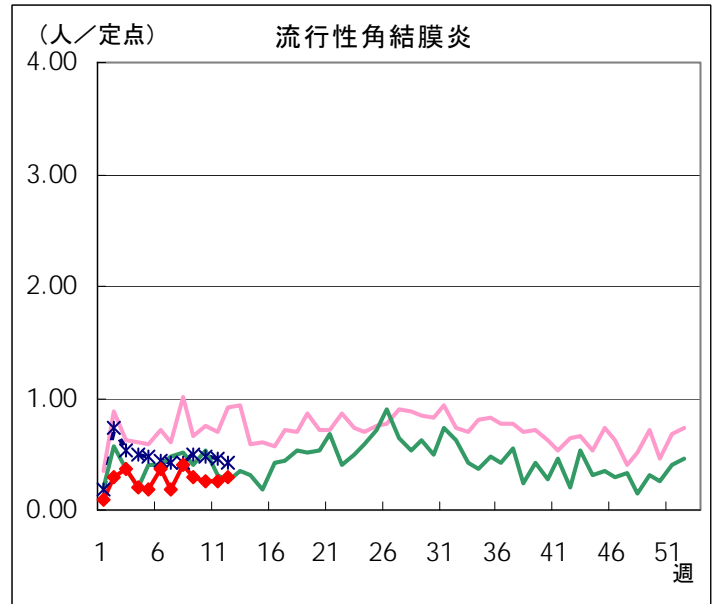
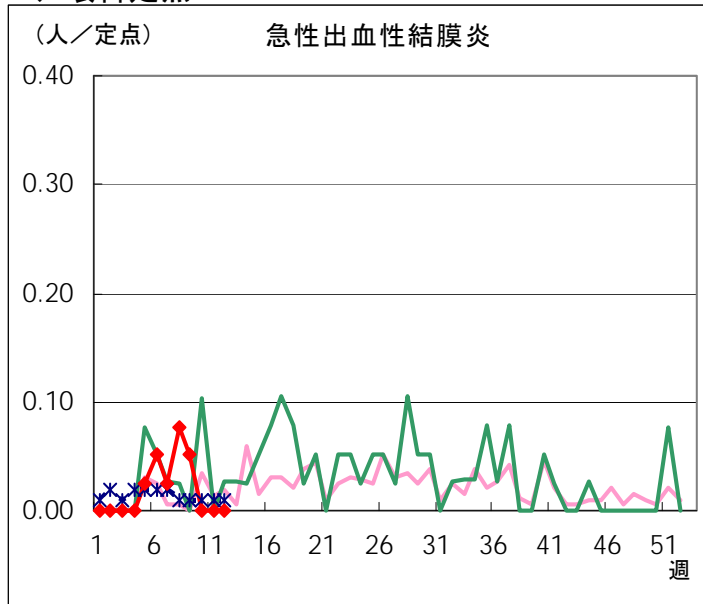
◆ 小児科定点



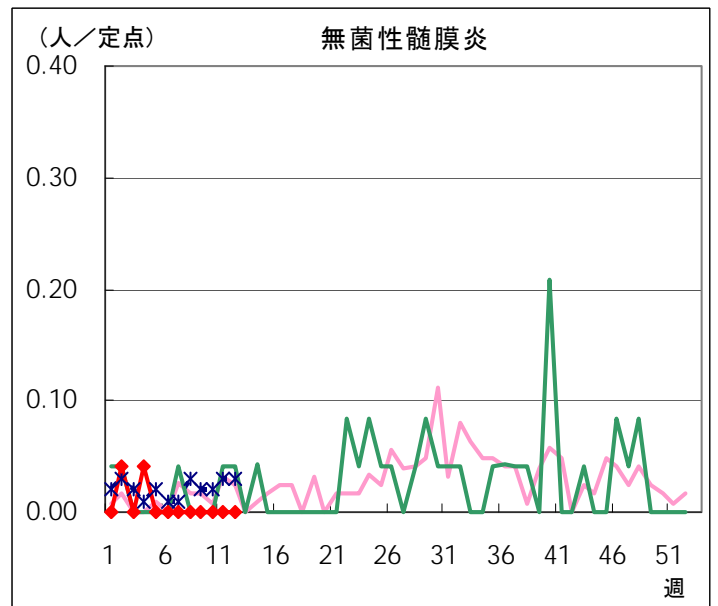
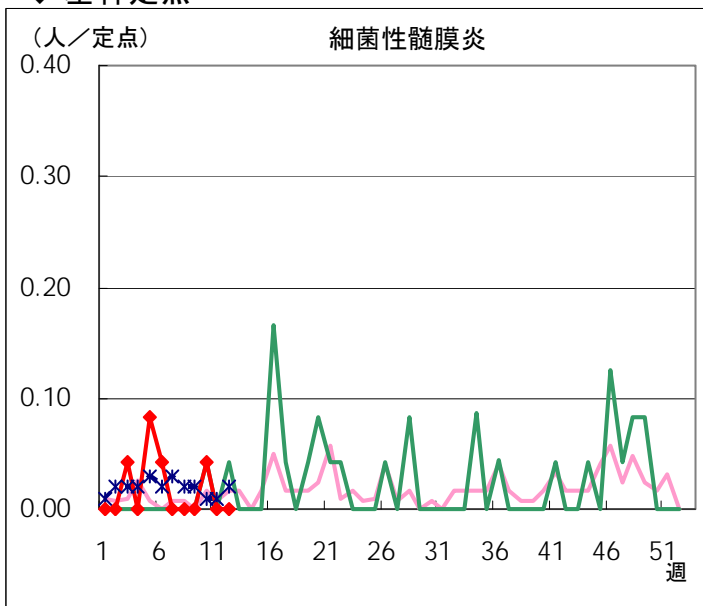


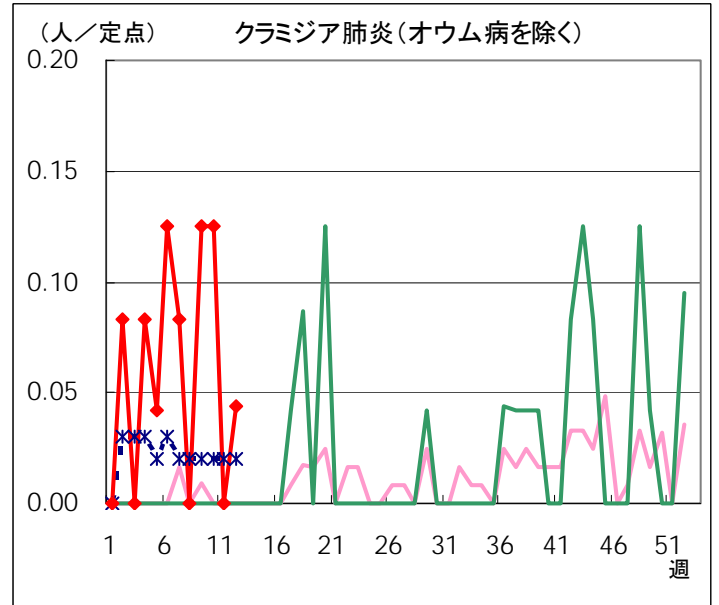
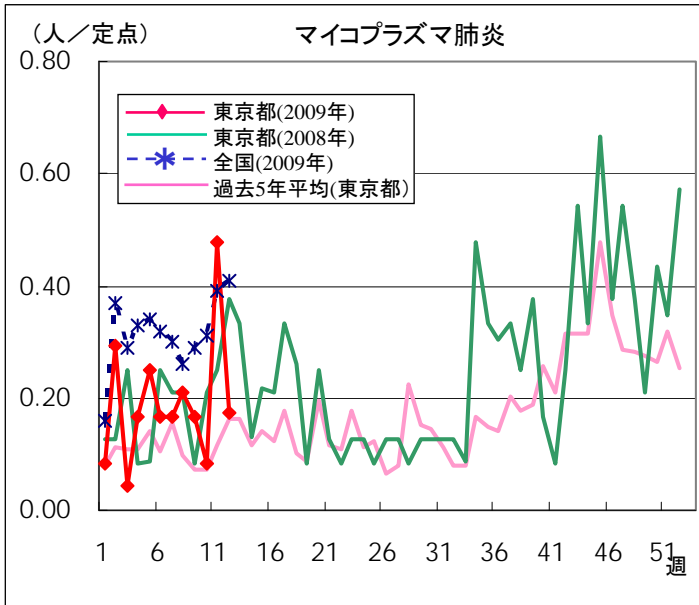


◆ 眼科定点

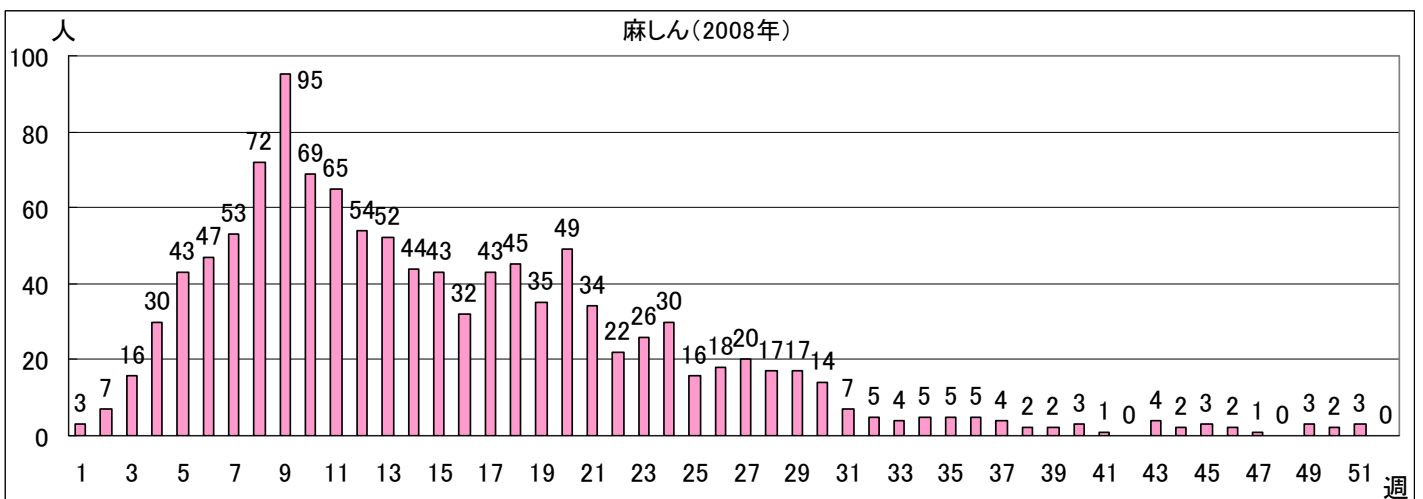
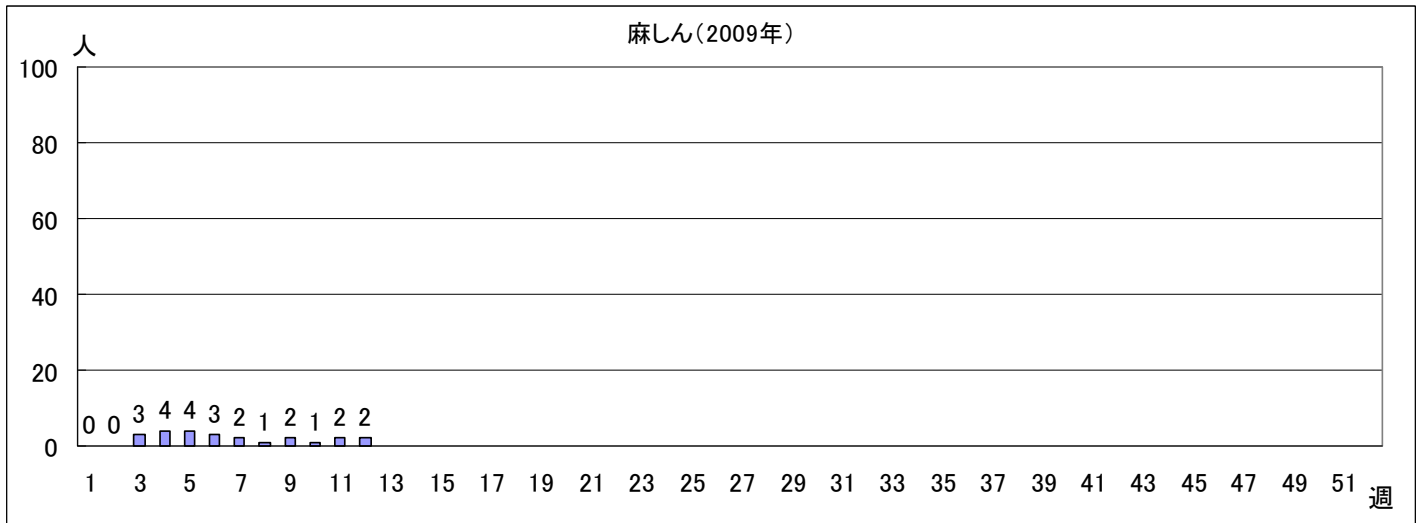


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年12週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	6	3	
		3	
	3	12	
新宿区	1		
	3	19	
		21	
文京区	1	2	7歳児A型、8歳児と10歳児B型。
台東	2	10	A型3歳児・8歳児、その他はB型。
		8	
		1	
江東	1	22	
	1	17	
	2	54	
		1	
	5	14	
品川区	2	13	
		38	
		1	
		3	
目黒区		4	
	1	1	9歳はB型、10歳はA型、型不明1名。
		9	
		9	
大田区	1	11	
	1	7	
		2	
		2	
	3		
		2	
	1	16	
世田谷区		5	
	13	12	
		12	
	1	7	
		40	
		3	

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
中野区	2	20	
		10	
	5	34	
		17	B型17名、A型とB型ともに陽性1名。
	3	12	
	3		
	2	8	
	2	4	
	22	B型22名、型不明1名。	
池袋	2	15	
		7	
北区		42	
足立	3	44	
西多摩	1	1	
		93	
		7	
町田		15	
多摩立川	1	6	患者10名：A型1名、B型6名(7歳児予防接種済)
		5	B型：7歳、10～14歳、40～49歳。
	4	13	A型：11歳・12歳・33歳 B型：4歳・5歳2名・6歳・7歳2名・9歳3名・11歳・12歳・27歳・34歳 臨床症状：14歳
	8	15	
多摩府中		13	
		3	B型3名(学童)：2名は予防接種済、1名は未接種。
	3		患者13名、A・B型ともに陽性1名。
多摩小平	1	5	
	1	22	
		15	
	2	35	
	1	81	
		7	
	3	7	
	2	4	
八王子市	2	45	
	1	44	
		4	
		22	
	1	56	
	2	95	

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
2/16	溶連菌感染症	2	菌株(咽頭)	<i>S.pyogenes</i> (T-25型)	血清型
2/16	溶連菌感染症	6	菌株(咽頭)	<i>S.pyogenes</i> (T-25型)	
2/20	溶連菌感染症	9	菌株(咽頭)	<i>S.pyogenes</i> (T-1型)	
2/27	溶連菌感染症	7	菌株(咽頭)	<i>S.pyogenes</i> (T-12型)	
3/6	けいれん、意識障害	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型	遺伝子
3/6	流行性耳下腺炎	2	咽頭拭い液	EBウイルス	
3/6	インフルエンザ 流行性耳下腺炎疑い	4	鼻汁	ムンプスウイルス	
3/7	流行性耳下腺炎	6	咽頭拭い液	ライノウイルス ムンプスウイルス	分離同定
3/7	溶連菌感染症	3	咽頭拭い液	<i>S.pyogenes</i> (T-4型)	
3/9	インフルエンザ	4	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型 アデノウイルス	遺伝子
3/9	インフルエンザ	6	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型 アデノウイルス	
3/10	発熱	0	咽頭拭い液	ライノウイルス	
3/10	急性咽頭扁桃炎 アデノウイルス感染症	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
3/10	急性気管支炎 インフルエンザ	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
3/10	不明発しん症	10M	咽頭拭い液	ライノウイルス サイトメガロウイルス	分離同定
3/10	溶連菌感染症	8	咽頭拭い液	<i>S.pyogenes</i> (T-25型)	
3/11	気管支炎	10M	喀痰	ライノウイルス	遺伝子
3/11	急性脳炎	1	鼻腔拭い液	ライノウイルス	
3/11	急性脳炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
3/12	発熱	3M	咽頭拭い液	アデノウイルス	
3/13	流行性耳下腺炎	記載無し	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
3/13	流行性耳下腺炎	10	咽頭拭い液	アデノウイルス ムンプスウイルス EBウイルス	
3/13	流行性耳下腺炎	3	咽頭拭い液	ライノウイルス ムンプスウイルス	

◇定点医療機関から搬入された検体の遺伝子検査法による亜型

亜型検出件数	インフルエンザウイルス		
	AH1型	AH3型	B型
11週	5	1	21
今シーズン累計	216	99	63

オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

3/25現在

調査方法	A/H1N1分離株	耐性株
感染症発生動向調査	33	33
学級閉鎖等	20	20

詳しくは<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/>を参照下さい。

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2009年							
		4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週
ウイルス	アデノウイルス	7	12	3	4	11	4	7	5
	ライノウイルス	2	6	4	2	2	1	6	8
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71			1					
	その他のエンテロウイルス	4	4			2	1	5	
	単純ヘルペスウイルス		3		1	1	3		
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	2	4	7	2	2	5	4	2
	EBウイルス	2	1			2	2		2
	サイトメガロウイルス	4		3		1	1	1	1
	ムンプスウイルス	1	2	2		1	2	2	5
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19	1							
	RSウイルス	1	1	1	1	1			
	ノロウイルス	2	3	1	1	5			
	ロタウイルス			2			1	3	
	インフルエンザウイルスAH1	29	20	59	28	12	5	3	5
	インフルエンザウイルスAH3	9	9	22	9	7		4	1
	インフルエンザウイルスB		2	5	4	5	6	13	21
デングウイルス(抗体を含む)						1			
その他のウイルス					1	1	1		
細菌	カンピロバクター					1			
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌		1						
	溶血性レンサ球菌		1	1				3	6
	その他の細菌		2	1	1			3	
その他の病原体		1	1						

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2009年4週～2009年11週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数	295	37	27	61	32	12	10	5	1	4	2	31	16	1				127
ウ イ ル ス	アデノウイルス	16	8	5	3		3	3		2		2	1					10
	ライノウイルス	2	7	5	1		3				2	3	1					7
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	1
	その他のエンテロウイルス	1	1	2	3				1	3								5
	単純ヘルペスウイルス	1											3					4
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7		1		1					3		13	1					9
	EBウイルス	1										1		3				4
	サイトメガロウイルス			1	1								8					1
	ムンプスウイルス					1								11				3
	麻しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											1						
	RSウイルス	1	1	3														
	ノロウイルス				11													1
	ロタウイルス			3	3													
インフルエンザウイルスAH1	159	1															1	
インフルエンザウイルスAH3	60		1															
インフルエンザウイルスB	56																	
デングウイルス (抗体を含む)																	1	
その他のウイルス		1		2														
細 菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																1	
	溶血性レンサ球菌							10									1	
その他の細菌	1	4		1													1	
その他の病原体			1														1	